



仁和だより 特別号

仁和小学校 学校教育目標

自ら学び 自ら律し 未来に向かってたくましく共に生きる子の育成

令和 6年 3月 21日
京都市立仁和小学校
校長 佐野 丈夫

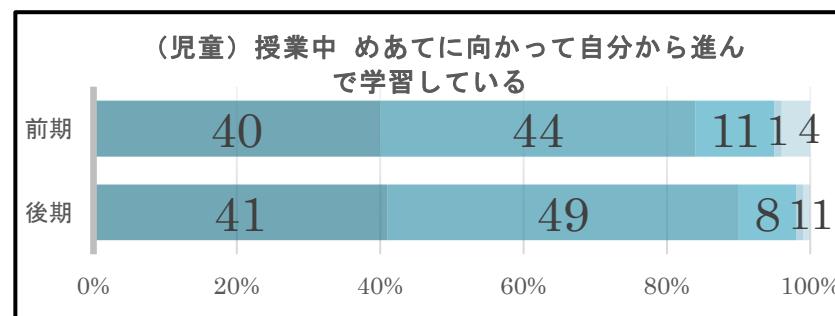


「学校が楽しい」と感じられる児童を増やしていきたいと思います。

学校評価アンケート後期結果

保護者の皆様には、お忙しい中、1月末に「令和5年度後期学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。児童と保護者の学校評価アンケートの集計結果を報告させていただきます。今回は、特に変化が見られた項目について実態を考察し、課題については、改善策を考えていきたいと思います。今回の保護者アンケートの回答率は、45%でした。自由記述欄にも、貴重なご意見をたくさんいただきありがとうございました。今後もアンケートを継続していく予定ですので、ご協力を願いいたします。

■よく出来ている ■だいたい出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない ■わからない



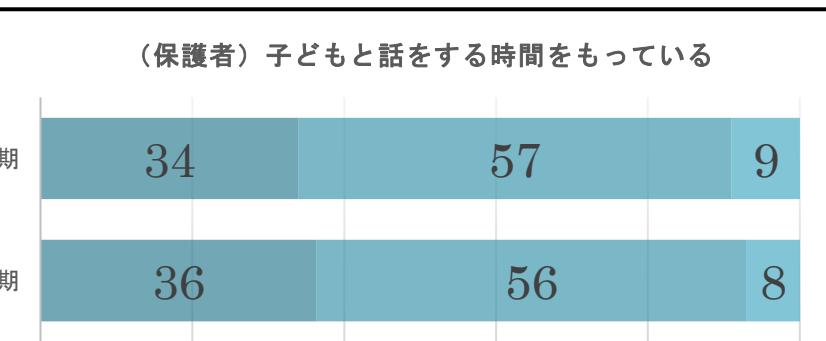
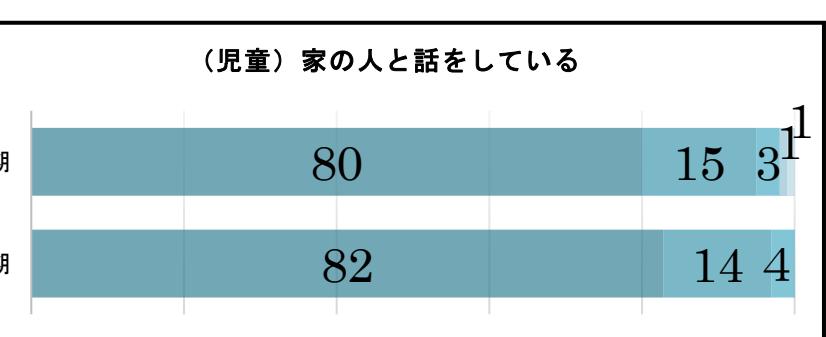
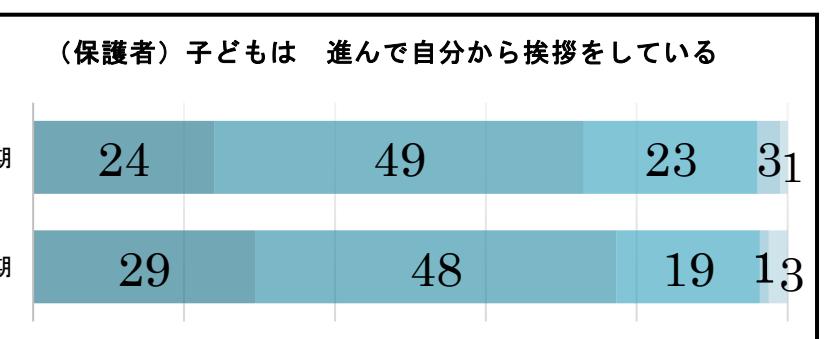
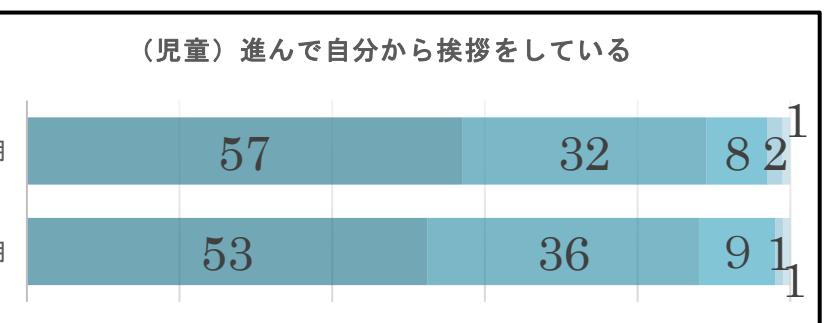
「授業中、めあてに向かって自分から進んで学習している」と答えた児童が、前期に比べ増加しました。どの教科においても、めあてと振り返りを意識した授業を心掛けています。今後もめあてと振り返りをしっかりすることで、学習したことの価値を確認し、次の学びへの意欲につなげ、主体的な学びを展開していきたいと思います。



「自分の思いや考えを伝えたり発表したりする」ということが、前期に引き続き、課題となっています。ペアやグループで話すことでの思いや考えに自信がもてたり、伝えたいことがまとまります。来年度も対話的な学びを大切にしていきたいです。



前期に比べ「進んで読書をしている」児童が少し増えています。本を読むことで、想像力や表現力が豊かになったり、語彙力や知識も増えたりします。来年度は、朝読書の時間を設け、読書環境を作っていくことです。



「学校で楽しくすごしている」と答えた児童が、前期に比べ少し増加しました。後期は、スポーツフェスティバル、学習発表会、わくわく冬まつりなど様々な行事が行われ子ども達が活躍しました。児童の自己肯定感や自尊感情を育むことができるような取組を今後も進め、

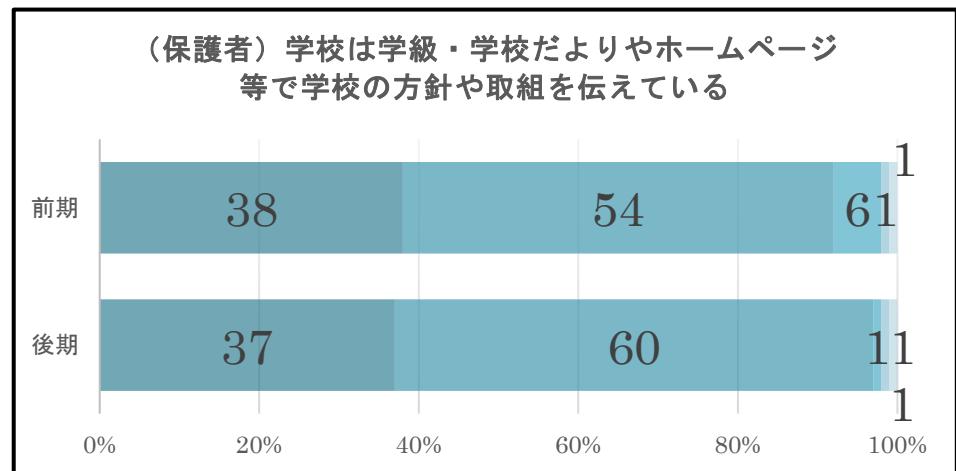
2学期より挨拶について、取組を進めてきました。気持ちのよい挨拶ができる児童を「あいさつ名人」として紹介したり、教職員が様々な挨拶の仕方を見せて考える場面を作ったりしました。また、3学期の始めには、各クラスで挨拶の目標を決め、児童集会で発表していました。

挨拶の仕方は、1学期に比べ良くなり、「目を見て」「声をしっかり出して」できる気持ちのよい挨拶が増えました。アンケートの結果に数字として表れていませんが、よい姿が見られています。

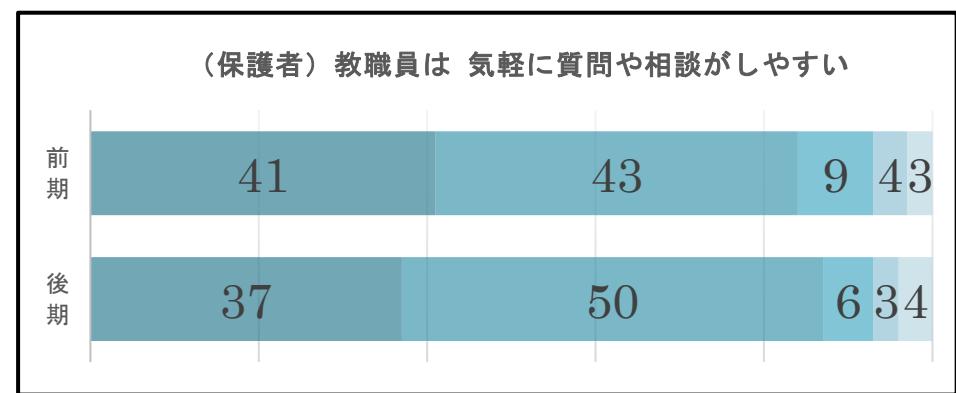
「家の人と話をしている」という項目に「よく出来ている」と答えた児童が、前期と同様80%を超えていました。保護者アンケートの結果では、児童アンケートの結果より低い結果が出ていますが、忙しい中でも、児童との時間を大切にされている様子が伺えます。

様々な環境の中で、ゆっくりと話をする時間を取りることは難しい日が多いと思いますが、その日の嬉しかったことや悔しかったこと、できるようになったことなど児童の思いを受け止め共感できる時間を大切にしたいものです。

■よく出来ている ■だいたい出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない ■わからない



前期と比べると、「出来ている」と答えていただいた保護者が、5%増えました。今後も、学校の方針や取組をお便りやホームページでも発信し伝えていけるよう、工夫しながら進めていきたいと思います。



前期・後期ともに、「よく出来ている」と答えていただいた保護者は約40%しかいません。今後も個人懇談会や学級懇談会を大事にしながら、普段からの保護者の方との関係づくりに努めたいと思います。

<自由記述欄より（一部抜粋）>

○先生方や学校関係の方、地域やPTAの方が子ども達を温かく見守ってくださっているおかげで安心して楽しく学校生活を送ることができます。本当にありがとうございます。

○プログラミング、パソコンを使った学習などの情報教育がなされていないと感じます。低学年にとっても、もう少し学校での取組を実施していただけると有り難いです。

⇒ GIGA端末の使用・活用方法を見直していきたいと思います。

○家庭地域と連携を取れているか、教職員に気軽に質問や相談がしやすいかとの問い合わせに対して、学校、教職員の方達の印象は受け身だと感じています。

○野外、体育館など身体を使った行事や遊びを増やしてください。

⇒ たてわり遊びを実施したり、3学期には、運動委員会主催のクラス対抗のドッジボール大会を行ったりしました。来年度は、ロング昼休みを設け、じっくり体を動かせる時間を取り考えています。

○子どもが朝の挨拶など、元気よく自ら進んでする子が少ないことを残念に思います。

○あいさつ当番に立って、子ども達が目を見て大きな声であいさつしてくれたことに元気をもらいました。あとから一人で登校してきた女の子が朝日の中、花壇の花の様子を足を止めて眺め、それから校舎へと向かう姿を見て彼女の心境を想いました。子たちも何かと忙しいけれど、そんな風にふと植物の姿に思いを馳せる情緒がちゃんと育っているんだなと感心したと同時に、学校の環境の大切さを感じました。

⇒ 保護者の方には、朝のあいさつ当番で子ども達の安全を見守っていただき、大変ありがとうございます。あいさつ当番をする中で、子ども達のあいさつの様子について、様々に感じてくださっていることがわかります。あいさつの取組を通して、子ども達のあいさつの様子は良くなっていますが、まだ向上していけると思っています。今後とも、子ども達の様子や成長を見守っていただきますようよろしくお願ひいたします。

○兄弟がいる場合の授業参観日の参観時間と懇談がある時間など重なるので参加することが不可能な場合があり困ります。

⇒ 時間が重なることで、ご不便をおかけして申し訳ありません。参観日の日数を複数設けると、ご負担が大きくなるため、1日にまとめ、低学年と高学年で時間をずらして設定させていただいている。

○子ども達のわくわくする気持ちや好奇心を大切にしたご指導に感謝しております。引き続きよろしくお願ひします。

★今後も、皆様からいただいたご意見を参考に、仁和教育を進めていきたいと考えています。たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

<学校運営会理事の皆様より（一部抜粋）>

・スポーツフェスティバルで、子ども達が頑張る姿を見て元気をもらえ感動した。それと同時に教職員が、準備で走り回っている姿を見ることができ感心した。

・学校をサポートできることがあったらしていきたい。そのためには、知ることから始めたい。

・作品展で、子ども達と出会った時に顔を見て挨拶をしてくれて気持ちがよかったです。

・子ども達が持っている力やエネルギーはたくさんある。その力やエネルギーを引き出すためにも地域でできることをしていきたい。

・アンケートの保護者回答率を見ると整合性がどうかなと思う。このアンケートが何の役に立っているのかを伝えることで興味をもってもらう方法を考え、回答率を伸ばすことにつなげるとよい。

・みんなが主役、みんなで作る、みんなで支える住みよい仁和になればと思う。